

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	歴史 I
科目基礎情報						
科目番号	0008		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	現代の日本史A 鳥海靖他著 山川出版社					
担当教員	武長 玄次郎					
到達目標						
近代日本における科学技術の発展史を大きな歴史の流れの中で理解できるようになることが大きな目標である。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
準学士課程 1(2)						
教育方法等						
概要	歴史上の大きな事件、重要な人物の動向をおさえつつ、科学技術史の発展について注意する。					
授業の進め方・方法	講義形式であり、適宜映像資料を用いる。					
注意点	現在日本が科学技術大国になったのは、決して一朝一夕の出来事ではなく、長い苦闘の末成立したものであることを感じてもらいたい。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	江戸時代の文化・社会		江戸時代の人々の暮らしや技術を理解できる	
		2週	ペリー来航の背景		いわゆる黒船来航の背景を理解できる	
		3週	開国と攘夷		多くの悲劇を生んだ攘夷運動の流行を理解できる	
		4週	幕末に活躍した技術者		幕末の技術発展が明治以後の基礎となったことを理解できる	
		5週	幕末の経済と政治		幕末の経済混乱とそれがもたらした動乱の背景を理解できる	
		6週	幕府の崩壊		江戸幕府が倒れ明治政治が成立した理由を理解できる	
		7週	明治政府の改革		明治初期の改革の動きがもたらした発展と混乱を理解できる	
		8週	明治における経済と社会		明治時代の経済改革の仕組みと人々の生活変化を理解できる	
	2ndQ	9週	明治前期の技術者		工部大学校の教育と成果を理解できる	
		10週	明治の文化		明治時代の文化が現代の源流になっていることを理解できる	
		11週	明治期の外交		明治日本の外交政策の困難さを理解できる	
		12週	明治期の経済発展		明治中期以降の経済はどのようであったかを理解できる	
		13週	明治における世界と日本		引き続き困難な世界情勢の中での日本の選択を理解できる	
		14週	日清戦争		日進戦争の原因と結果を理解できる	
		15週	日露戦争		日露戦争の原因と結果を理解できる	
		16週				
後期	3rdQ	1週	明治後期の外交		日露戦争以後の日本の外交政策を理解できる	
		2週	大正期日本の政治		明治と大正の政治状況の違いを理解できる	
		3週	大正期日本の思想		民主主義的な考えが入りかけていた大正期の状況を理解できる	
		4週	日本植民地の光と影		日本が獲得した植民地の発展と悲劇を理解できる	
		5週	大正期の科学技術		大正期に活躍した日本の科学者・技術者について知る	
		6週	世界恐慌と日本		世界恐慌がもたらした日本への悪影響を理解できる	
		7週	軍部の台頭		軍部が日本の政治にも影響を持った背景を理解できる	
		8週	戦前日本の国民生活		しだいに圧迫されていく日本の国民生活を理解できる	
	4thQ	9週	太平洋戦争		太平洋戦争の概要	
		10週	占領と改革		戦後GHQがもたらした改革について理解できる	
		11週	戦後復興を担った企業家たち		戦後焼け野原から日本を復興させた日本の企業家を知る	
		12週	戦後の政治と経済		現代日本の政治・経済の源流を探る	
		13週	高度経済成長の光と影		高度経済成長がもたらした豊かさや公害等負の面を理解できる	
		14週	現代日本の苦闘		21世紀に生きる我々の社会が抱える問題点を理解できる	
		15週	地域の経済と文化		地元の文化と経済の状況を知る	
		16週				

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30